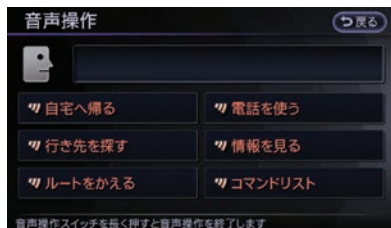
音声操作

音声操作の基本操作

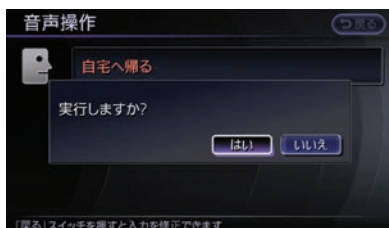
基本的な操作の流れ

ここでは自宅へのルートガイドを設定する操作を例に説明します。

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す(※1)

音声操作画面が表示されます。
「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドのあと、音声待ち受け状態になります。

2 アイコンがからになったときに『自宅へ帰る』と発話する(※2)

ボイスコマンドを認識すると、「自宅に帰るルートを探索します。」とガイドします。

3 はいを選ぶ

ボイスコマンドが実行され、自宅までのルートガイドを開始します。

(※1) ガイド音声の音量は、ステアリングスイッチの − + スイッチで調整できます。

(※2)
- ステアリングスイッチの スイッチを押すと、1つ前のコマンド画面に戻ります。始めの画面では、音声操作をキャンセルします。
- を長く押すと、音声操作がキャンセルとなり終了します。を短く押すと、音声操作がポーズ状態になります。もう一度を押すと操作を再開します。

音声操作を上手に操作するには

ボイスコマンドを正しく認識させて、スムーズにコマンドを実行させるには、以下の点に注意してください。

- 同乗者がいる場合は、発話をするのを避けてもらってください。
- マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢でボイスコマンドを発話してください。
- 大きな声でハッキリと正確に発話するなど、呼びかけかたを変えてお試しください。また、音声を登録すると正しく認識させることができます。
- ボイスコマンドは、正しく発話してください。コマンド以外の言葉を発話しても、正しく認識されません。
- 「えーと」などの声を発したりすると、ボイスコマンドが正しく認識されないことがあります。
- ステアリングスイッチの スイッチを押した後、“ピッ”という音が鳴ってからお話しください。話し始めるまでに時間がかかったときは、「コマンドをどうぞ」と再度ガイドされます。
- リストに表示されている行き先やチャンネル名などは、リストの番号を発話してください。
- 画面上にオレンジ色で表示されている言葉がコマンドとして認識できる言葉です。白または灰色で表示されているものは発話しても認識することができません。
- ボイスコマンドは自然な速さで発話してください。ゆっくり話しすぎると正しく認識されません。

■ 音声マイクの位置

音声操作用のマイクはハンズフリーフォン用マイクと共用です。

操作スイッチとマイク位置…p.208

音声操作の便利な使いかた

それぞれの機能について、実際の音声操作の使い方について説明しています。

音声操作で場所を探す

ここでは、神奈川県横浜市○○区△△1の2の3を検索する操作を例に説明します。

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す

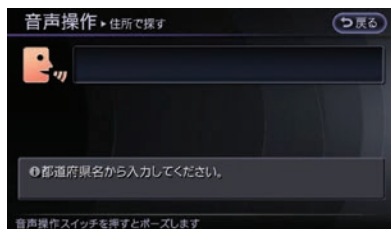
音声操作が始まり、「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドがあります。

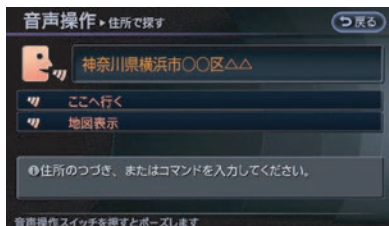
2 『行き先を探す』と発話する

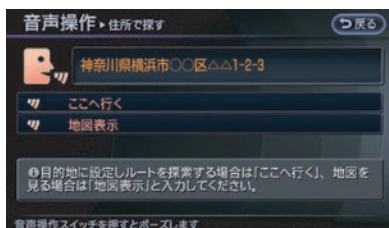
「行き先を探す」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

3 『住所』と発話する

「住所」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

4 『神奈川県横浜市○○区△△』と発話する

「神奈川県横浜市○○区△△」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

5 『1の2の3』と発話する

「1の2の3」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

6 『ここへ行く』と発話する

ガイドが流れ、目的地までのルートが探索されます。

■ 住所や電話番号の発話のポイント

- 音声入力しているときにステアリングスイッチの[戻る]スイッチを押すと、最後に音声で入力した内容を消去しますので、途中から入力をやり直すことができます。
- 住所を入力するときは、「都道府県名から大字（おおあざ）まで」を発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから小字（こあざ）がある場合は「小字、丁目、番地、号」、ない場合は「丁目、番地、号」を発話してください。
- 「都道府県名」と「市名」、「市名」と「町名」の間などは、区切って入力もできます。

  例1）『かながわけんよこはまし』と続けて発話。

  例2）『かながわけん』と発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから『よこはまし』と発話。
- 政令指定都市、および東京23区については、都道府県名を省略して入力できます。
- 番地を入力する際、1丁目23番地4号（1-23-4）を入力する場合は、『いち の に さんの よん』または『いち にさんよん』と発話します。23を『にじゅーさん』と発話しても入力できます。
- 番地を入力しなくても、大字（おおあざ）まで入力後、『行き先にする』と発話すると、付近までのルートを探索します。
- 地域によっては小字（こあざ）の入力に対応していない場合があります。
- 丁目、番地、号には、一部入力できないものがあります。

音声操作で電話をかける

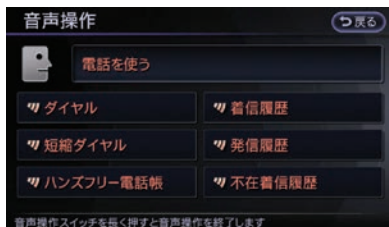
ここでは「045-523-5523」に電話をかける操作を例に説明します。

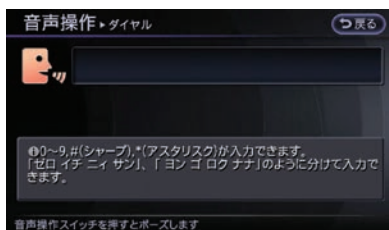
1 ステアリングスイッチの[音声操作]スイッチを押す

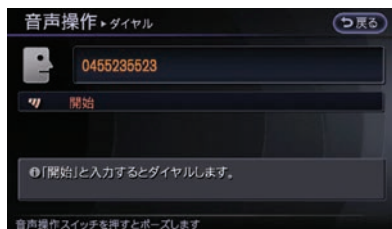
音声操作が始まり、「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドがあります。

2 『電話を使う』と発話する

「電話を使う」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

3 『ダイヤル』と発話する

「ダイヤル」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

4 『045 523 5523』と発話する(※1)

「045 523 5523」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

5 『開始』と発話する

ガイドが流れ、メッセージが表示されます。

6 はいを選ぶ

相手先に発信します。

リストから番号を選んで操作する

登録地や短縮ダイヤルなど、コマンドによってはナビに保存された情報がリスト表示され、番号を発話して操作します。

ボイスコマンド一覧…p.376

ここでは登録地への目的地設定を例に説明します。

1 ステアリングスイッチのスイッチを押す

音声操作が始まり、「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドがあります。

2 『登録地へ行く』と発話する

登録地リストが表示されます。リスト表示されるの は5件までです。(※1)

3 『いちばん』と発話する

ガイドが流れ、ルート探索が始まります。

知識

(※1) 1度に全ての電話番号を発話するのではなく、初めに市外局番、認識できたら市内局番、最後に残りの番号と、3回に分けて認識させると、より正確に認識できます。

知識

(※1) リストに表示されない登録地を目的地に設定するには、登録地のヨミを発話します。

ヨミを活用する

登録地やハンズフリー電話帳など、登録されている情報にヨミが含まれているものは、ヨミを発話して操作できます。

ここではハンズフリー電話帳を例に説明します。

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す

音声操作が始まり、「ピッと鳴ってからお話しください」"ピッ"というガイドがあります。

2 『ハンズフリー電話帳』と発話する

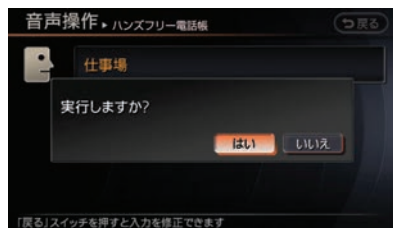
「ハンズフリー電話帳」とコマンドを認識し、「電話帳の登録名をどうぞ」"ピッ"というガイドがあります。

3 登録先のヨミを発話する(※1)

ガイドが流れ、ルート探索が始まります。

4 はい

相手先に発信します。

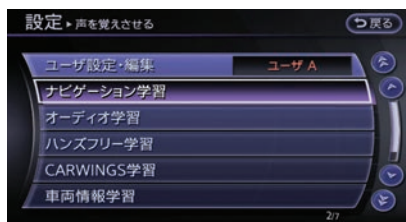
(※1)
- ハンズフリー電話帳に登録されているヨミは、半角カタカナ18 文字まで発話できます。記号や英数 字が含まれたヨミは、正しく認識されません。
- ヨミが短すぎる場合や似たようなヨミが複数ある場合は、正しく認識されないことがあります。

音声をシステムに学習させる

声を登録してコマンドを認識しやすくすることができます。最大3名まで登録できます。

1 設定スイッチを押す

その他設定 → 音声操作 → 声を覚えさせるを選ぶ

2 ユーザーを選ぶ

3 ナビゲーション学習を選ぶ

4 登録したいコマンドを選ぶ

ガイドにしたがって発話します。

音声が登録されているとリストの右枠に「登録済み」と表示されます。

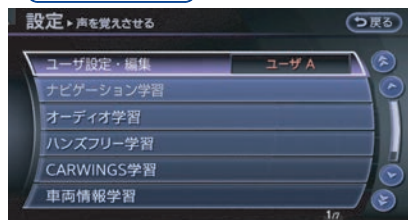
音声操作

■ 音声登録を設定・編集する

1 設定スイッチを押す

その他設定 → 音声操作 →
声を覚えさせるを選ぶ

2 ユーザーを選び

ユーザー設定・変更を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

以下の項目を設定できます。

ユーザー名の編集：
ユーザー名を入力します。

声を覚えさせる：
登録した音声を使ってコマンドを認識します。

覚えた声を消去する：
登録した音声を消去します。

連続学習：
コマンドを選ばず連続で音声登録できます。

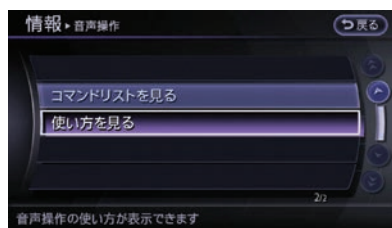
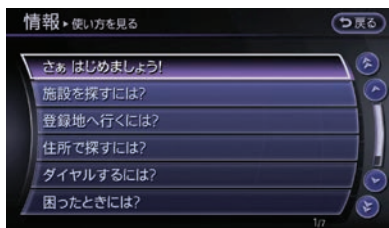
音声操作の使い方を覚える

音声操作の使い方や発話できるボイスコマンドは、ナビゲーション画面でも確認できます。初めて音声操作をご使用になるときや使い方を忘れてしまったときなどに確認されると便利です。

使い方ガイドを表示する

音声操作のいろいろな使い方を説明する画面を表示できます。

1 情報・W★または 情報 ★スイッチを押す
音声操作 を選ぶ(※1)

2 使い方を見る を選ぶ

3 表示したい項目を選ぶ

さぁ はじめましょう! ：
音声操作の基本的な使い方を確認できます。

施設を探すには? ：
目的地の施設検索を音声操作で行う場合の使い方をシミュレーションで説明します。

登録地へ行くには? ：
目的地の登録地検索を音声操作で行う場合の使い方をシミュレーションで説明します。

住所で探すには? ：
目的地の住所検索を音声操作で行う場合の使い方をシミュレーションで説明します。

ダイヤルするには? ：
電話の発信を音声操作で行う場合の使い方をシミュレーションで説明します。

困ったときには? ：
音声操作の使い方のポイントを確認できます。

学習するには? ：
音声をあらかじめシステムに学習させて、コマンドを認識しやすくする設定をシミュレーションで説明します。

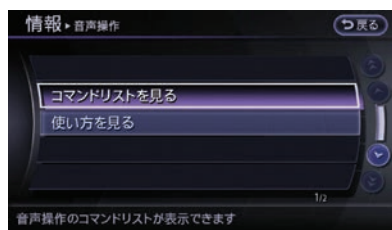
(※1) 仕様により、音声操作 は 情報・W★または 情報 ★スイッチ→ その他情報 を選んで表示します。

コマンドリストを表示する

音声操作で発話できるボイスコマンドのリストを表示できます。

1 情報・W★または情報★スイッチを押す

音声操作を選ぶ(※1)

2 コマンドリストを見るを選ぶ

3 表示したい項目を選ぶ

ナビゲーション：
ナビゲーション操作に使用できるコマンドリストを表示します。

オーディオ：
ミュージックボックス、ラジオ、テレビ、DVD、CDなどの操作に使用できるコマンドリストを表示します。

ハンズフリー：
電話操作に使用できるコマンドリストを表示します。

CARWINGS：
カーウイングスの操作に使用できるコマンドリストを表示します。

その他：
ヘルプなどその他の情報を確認できるコマンドリストを表示します。

4 表示したいリストを選ぶ

コマンドリストが表示されます。

(※1) 仕様により、音声操作は情報・W★または情報★スイッチ→その他情報を選んで表示します。